



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社ギガプライズ 上場取引所 名
 コード番号 3830 URL <http://www.gigaprise.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 檀野 敬
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 (氏名) 木村 賢治 (TEL) 03-5459-8400
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (—)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,286	△8.7	46	19.0	44	19.5	28	60.9
25年3月期第3四半期	1,408	1.9	39	△34.9	37	△32.9	17	△34.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 25百万円(333.5%) 25年3月期第3四半期 5百万円(△78.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.64	22.54
25年3月期第3四半期	14.07	14.01

(注) 当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,171	667	57.0
25年3月期	1,326	654	49.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 667百万円 25年3月期 650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	10.00	10.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	△2.4	150	132.8	144	133.2	81	339.9	63.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 1社(社名) アイ・シンクレント株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,413,400株	25年3月期	1,411,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	138,100株	25年3月期	137,100株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,273,345株	25年3月期3Q	1,273,610株

当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や金融政策等を背景とした円安株高の恩恵を引き続き享受し、各種経済統計、各機関の報告の通り、緩やかな回復を進めたものの、原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、新興国経済減速等の下振れ懸念もあり、景気の先行きは好転基調を続けているものの不透明な状況が更に増大しつつあります。

当社が主にサービスを提供する不動産業界におきましては、消費増税の反動や、大幅な建設増等による工期遅れの影響、資材・工事価格高騰・金利上昇懸念等の影響が予見されるものの、5年ぶり高水準となった新規住宅着工戸数と不動産の差別化・高付加価値化を求めるオーナー様、管理会社様等の旺盛な需要を背景とした継続的な当社サービスへの利用意欲と共に、昨年来より積極的に先行投資を進めていた大手顧客開拓、全国拠点整備・人的投資等が確実に実を結び、従来以上のスピードで受注・契約戸数を増加するとともに、引き続き解約数を低水準に維持させることができ、過去最高のサービス開始戸数純増を継続しており、上期に実行した集中と選択と共に、安定的な経営基盤づくりを進めることができました。

当第3四半期連結累計期間における経営成績は、売上高1,286百万円(前年同期比8.7%減)、営業利益46百万円(前年同期比19.0%増)、経常利益44百万円(前年同期比19.5%増)、四半期純利益28百万円(前年同期比60.9%増)となりました。

第2四半期連結会計期間より、当社のシステム開発事業を譲渡したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「HomeIT事業」「システム開発事業」から、「HomeIT事業」に変更しております。なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① HomeIT事業

マンション向けISP事業につきましては、新築分譲マンション向け並びに、小規模賃貸マンション向けのサービスが引き続き堅調に推移するなか、昨年度より進めていた大手顧客との連携強化、全国展開等が確実に成果が上がり、前連結会計年度末と比べ契約数の大幅な増加を実現いたしました。一方、回線品質向上並びにサービスメニューの強化等、顧客満足度向上を図り、利用者サービスの充実を継続的に進めた結果、解約数も低水準に維持させることができ、当第3四半期連結累計期間におけるサービス戸数は前連結会計年度末に比べ13,266戸増の53,283戸となるとともに、第4四半期、来期以降に開通となるサービス戸数も順調に受注することができました。

ネットワーク事業につきましては、サーバレンタルなどのホスティングサービスや、システムの運用・監視を行うマネージサービスプロバイダー(MSP)サービスにおいて、継続的な顧客の囲い込み等により、堅調に推移するとともに、マンション向けISP、賃貸管理システム向け新規メニュー開発・改善等において同事業を礎に、新たなサービスメニュー開発を進めております。

また、子会社である株式会社ESPにおいても、WindowsXPサポート終了に伴うVersionUp対応等が順調に推移するとともに、賃貸管理システムとマンションISP事業等の共同提案等が確実に実を結びつつあります。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、1,203百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、当社親会社に平成25年7月1日付けで事業譲渡をし、当第3四半期連結累計期間における売上高は、58百万円(前年同期比79.0%減)となりました。

③ その他事業

その他につきましては、人材派遣等を行った結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、25百万円(前年同期比5.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、売掛金の回収等により前連結会計年度末に比べ155百万円減少となり、1,171百万円となりました。

負債合計につきましては、借入金の返済により前連結会計年度末に比べ169百万円減少となり、503百万円となりました。

純資産合計につきましては、667百万円となりました。

この結果、自己資本比率57.0%となっております。

② 資金の源泉

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の52.3%を占める612百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予想可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績につきましては、平成25年5月14日付当社「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結子会社であるアイ・シンクレント(株)の株式の全部を同社の少数株主である菊池欣也氏に売却したことに伴い、同社は連結子会社ではなくなっております。

この結果、平成25年12月31日現在では、当社グループは、当社、親会社2社及び連結子会社1社の4社により構成されることとなりました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	639,210	612,546
受取手形及び売掛金	347,144	225,409
商品及び製品	941	—
仕掛品	11,063	5,930
原材料及び貯蔵品	7,624	8,149
その他	54,855	63,745
貸倒引当金	△1,928	△280
流動資産合計	1,058,911	915,501
固定資産		
有形固定資産	130,018	143,417
無形固定資産		
のれん	52,520	24,371
その他	57,118	39,259
無形固定資産合計	109,639	63,631
投資その他の資産		
投資その他の資産	28,511	93,535
貸倒引当金	△131	△45,041
投資その他の資産合計	28,380	48,493
固定資産合計	268,037	255,542
資産合計	1,326,949	1,171,043
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,158	58,798
1年内返済予定の長期借入金	158,020	104,016
未払法人税等	30,977	4,018
資産除去債務	11,344	—
その他	85,978	85,468
流動負債合計	356,479	252,301
固定負債		
長期借入金	305,302	230,624
退職給付引当金	8,800	10,533
資産除去債務	—	8,606
その他	1,995	1,496
固定負債合計	316,097	251,261
負債合計	672,577	503,562

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,260	192,860
資本剰余金	112,455	113,055
利益剰余金	460,181	476,272
自己株式	△114,196	△114,886
株主資本合計	650,700	667,301
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	179
その他の包括利益累計額合計	265	179
少数株主持分	3,405	—
純資産合計	654,371	667,481
負債純資産合計	1,326,949	1,171,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,408,984	1,286,994
売上原価	948,664	785,296
売上総利益	460,320	501,697
販売費及び一般管理費	420,988	454,899
営業利益	39,331	46,797
営業外収益		
受取利息	207	277
貸倒引当金戻入額	947	—
その他	30	101
営業外収益合計	1,186	379
営業外費用		
支払利息	2,746	2,260
その他	278	128
営業外費用合計	3,025	2,388
経常利益	37,491	44,788
特別利益		
子会社株式売却益	—	13,461
事業譲渡益	—	21,250
特別利益合計	—	34,711
特別損失		
減損損失	—	41,305
事務所移転費用	993	—
その他	—	1,120
特別損失合計	993	42,425
税金等調整前四半期純利益	36,498	37,073
法人税、住民税及び事業税	35,215	25,345
法人税等調整額	△4,619	△13,696
法人税等合計	30,595	11,649
少数株主損益調整前四半期純利益	5,903	25,424
少数株主損失(△)	△12,013	△3,405
四半期純利益	17,917	28,830

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,903	25,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△86
その他の包括利益合計	△57	△86
四半期包括利益	5,845	25,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,859	28,743
少数株主に係る四半期包括利益	△12,013	△3,405

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,107,898	277,184	1,385,083	23,901	1,408,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,019	55,000	65,019	-	65,019
計	1,117,918	332,184	1,450,103	23,901	1,474,004
セグメント利益又は損失 (△)	74,106	4,439	78,546	△39,215	39,331

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、派遣事業並びに賃貸家賃クレジットカード収納サービス及び家賃保証業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	78,546
「その他」の区分の損失	△39,215
四半期連結損益計算書の営業利益	39,331

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、平成24年6月29日にアイ・シンクレント株式会社を第三者割当増資により取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において13,043千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,203,701	58,097	1,261,799	25,194	1,286,994
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,370	-	1,370	-	1,370
計	1,205,071	58,097	1,263,169	25,194	1,288,364
セグメント利益又は損失 (△)	90,571	△7,806	82,764	△35,966	46,797

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	82,764
「その他」の区分の損失	△35,966
四半期連結損益計算書の営業利益	46,797

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、当社のシステム開発事業を譲渡したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「HomeIT事業」「システム開発事業」から、「HomeIT事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失及びのれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメント(子会社)において、アイ・シンクレント(株)のソフトウェアの収益性が低下したこと等に伴い、当該資産の帳簿価額の全額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間においては41,305千円であります。

また、「その他」セグメントにおいて、超過収益力の減少に伴い、のれん償却額を計上しております。

なお、当該事象によるのれんの減少額は、当第3四半期連結累計期間において10,435千円であります。